

第21回 全国自転車問題自治体連絡協議会 総会、促進大会、講演会、施設見学会レポート

5月31日(木) 総会、促進大会、講演会

●第1部 総会 14:00～14:30



志村豊志郎会長

全自連会長：志村豊志郎氏の挨拶の後、役員紹介。副会長の邑上守正氏が議長に選出され、議事に入った。内容は次のとおり。

認定第1号 平成23年度事業報告

認定第2号 平成23年度歳入歳出決算報告
監査報告

議案第1号 平成24年度事業報告

議案第2号 平成24年度歳入歳出予算

議案第3号 全国自転車問題自治体連絡協議会新役員

以上、承認、可決された。また、東日本大震災被災地への再生自転車の提供状況の説明もなされた。

●第2部 自転車問題解決促進大会 14:45～15:45

志村会長の開会挨拶後、開催市代表者、来賓から祝辞が述べられた。要約して紹介していく。

・相模原市副市長：小星敏行氏(市長代理として挨拶) 相模原市内にリニア中央新幹線の駅が設置されることが決定している件、高速道路、IC等の設置、工業団地造成など複数のプロジェクトが進行中であることなどが説明された。自転車に関連する話題としては、相模大野駅西側地区の市街地再開発に伴い、垂直水平移動式の自転車駐車を昨年10月に供用開始した件、国道16号線などで自転車専用道も設置している件が説明された。また、今年3月に策定した自転車対策基本計画に基づき、歩行者と自転車が安全に安心して走行できる空間整備、自転車等の駐車対策、放置自転車対策などに取り組んでいることも報告された。

・衆議院議員：本村賢太郎氏 昨年10月には警察庁から「自転車交通総合対策」、今年5月29日には安全で快適な自転車利用空間の促進についても触れている「交通安全白書」が出され、自転車に注目が集まっている。国道16号線に自転車専用レーンを設置するなど、相模原市も注力されている。これからも超党派で自転車問題に取り組む。

・参議院議員：岩城光英氏 超党派の「自転車活用推進議員連盟」所属、谷垣禎一会長の代理として出席。自転車法の改正が大きな課題、震災後、自転車を通勤手段に



邑上副会長



小星敏行相模原副市長



岩城光英参議院議員



内閣府：宮岡俊輔氏



静岡市：小林孝好氏



議事を報告した
八十島事務局長



本村賢太郎衆議院議員



小泉昭男参議院議員



高岡市：山崎達雄氏



船橋市：千代 剛氏



使う人が増えた反面、ルール、マナーの問題が表面化。自身が会長を務めている政策審議会で自転車活用検討プロジェクトチームを立ち上げた。21世紀の都市交通の主役は自転車、一緒に自転車にまつわる諸問題改善に取り組んでいきたい。

・参議院議員：小泉昭男氏 自転車が活用される国づくりを目指したい。自転車問題を知るには自分が乗るのが近道。そこで分かったのがマナー、ルール遵守率の低さ、駐車場の管理の大変さ。自転車問題に対応する窓口を、与野党を超えてつくるよう尽力していく。

・内閣府：宮岡俊輔氏 交通事故による死者が減少している中で、自転車に関連した事故の発生件数は増加傾向にある、内閣府HPでも閲覧できる交通安全啓発DVD「自転車は車のなかまですー自転車を安全に乗るためにー」も活用していただきながら、安全な走行空間づくりやマナー、モラル向上に取り組みたい。

その後、全国各地から出席した役員紹介、表彰者発表、高岡市：山崎達雄氏による意見発表、静岡市：小林孝好氏による大会決議、そして次回の総会開催地となる船橋市：千代剛氏の閉会の言葉で終了した。

●第3部 講演会 16：00～16：45

「持続可能な交通まちづくり ～自転車ルネッサンスの動き」



東京大学名誉教授
公益財団法人 豊田都市交通研究所所長
太田勝敏氏

世界で自転車に対する再認識が進む現状を紹介。その背景として、環境・健康と交通、脱車依存社会に向けて交通の基本的背景、価値観、認識が変化していること

を挙げた。具体的な考察として、3つの構成を展開。第一に、人と物の輸送手段として優れた機能やデザインを備えていること、自転車交通システムの進化、都市交通システムにおける位置づけを紹介。第二に海外の事例として、サイクルシェアの普及、ロンドンの“自転車革命”、ニューヨークでの取り組みなどを紹介した。第三は締めくくりとして、日本での自転車利用促進に向けた提案。少子高齢化社会での持続可能な交通ビジョン、自転車の特性を活かす利用環境整備、インセンティブづくり、利用者の意識向上のための交通指導と取締りなどを説明した。

6月1日(金) 視察見学会

●相模原市内の各施設にて 9：00～12：00

翌日は3班に分かれて、市内の自転車駐車場、放置自転車対策の現場、自転車専用レーンなどを視察した。市営相模大野駅西側自転車駐車場は、最新の機械式駐輪機を採用。地下1階・地上1階の構造で原付を含めて計2,950台収容。1階の入出庫口に自転車をセットしてボタンを押すと自動的に収納する。出庫の際はICカードをかざすだけでOKという優れた利便性を備えていた。自転車専用レーンは市役所周辺に整備されたもので、整備前・整備後の比較イラスト資料と照らし合わせながら、市の担当者が説明。多くの見学者が撮影、質問するなどして意欲的に視察に臨んだ。

PP



市営相模大野駅西側自転車駐車場
機械式駐輪機を視察



市役所周辺に整備された自転車専用
レーンの視察風景

【総会～講演会】 日時：平成24年5月31日(木) 14：00～16：45
場所：小田急ホテルセンチュリー相模大野

【施設見学会】 日時：平成24年6月1日(金) 9：00～12：00
場所：小田急線相模大野駅周辺、相模原市役所周辺ほか